

自社プロジェクト・スキルスコアシート WEB 化の導入事例

● 導入の目的

イーテクノでは、自社プロジェクトとしてスキルスコアシート（※）を WEB 化する。導入の目的は以下の通りである。

- 入力作業を簡略化し、情報の更新頻度を上げる
- 技術部の社員全員が開発作業に参加することにより、スキルアップを図る
 - 経験年数の少ない社員は、標準的な技術を用いた開発経験を得る
 - 中堅以上の社員はプロジェクトリーダーとしてのマネジメント経験を得る
- 開発プロセス・ドキュメントを標準化し、開発効率を高める

※スキルスコアシートとは社員のスキルレベルをまとめたドキュメントである。これにより誰がどんなスキルを持っているのかすぐに分かるため、社内の情報連携が円滑化する。WEB 化する以前は経歴書等の情報をもとに各自が Excel で作成していた。

● スキルスコアシート WEB 化のシステム構成

システム構成として、Apache2（WEB サーバ）、Tomcat6（サーブレットコンテナ）、MySQL5（データベース）といったオープンソースを組み合わせた。また、OpenVPN（仮想プライベートネットワーク）を用いて社員自宅からも社内ネットワークと同様に Samba（ファイル共有サーバ）、SVN（バージョン管理システム）を利用できるようにし、社外からの開発環境を確保した。（図 1）

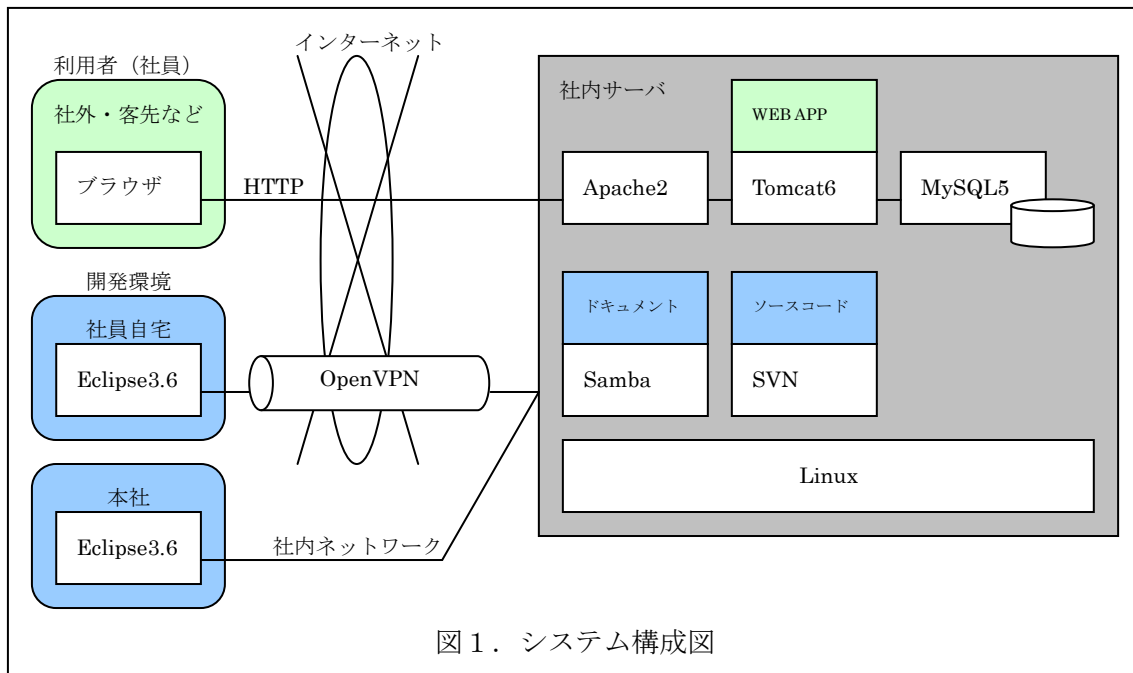


図 1. システム構成図

システム構成

言語	Java (JSP/Servlet/SAStruts)、SQL
OS/基盤	Linux、Apache2 (WEB サーバ)、Tomcat6 (サーブレットコンテナ)
DB	MySQL5
ツール類	Eclipse3.6 (統合開発環境) Samba (ファイル共有サーバ)、SVN (バージョン管理システム)

● スキルスコアシート WEB 化のアプリケーション構成

開発言語として Java (JDK1.6 準拠) 言語を、フレームワークとして非営利団体「Seasar ファンデーション」が提供する SAStruts+S2JDBC を採用した。

SAStruts (Super Agile Struts) は、WEB アプリケーションの定番フレームワークである Struts を、スクリプト言語のように「さくさく開発」できるように改良したものであり、Struts では肥大になりがちな設定ファイルを省力化できる特徴を持つ。また、S2JDBC は、流れるようなインターフェースでデータベースのテーブルとマッピングでき、90%以上の SQL を自動生成できる特徴を持つ。(図 2)

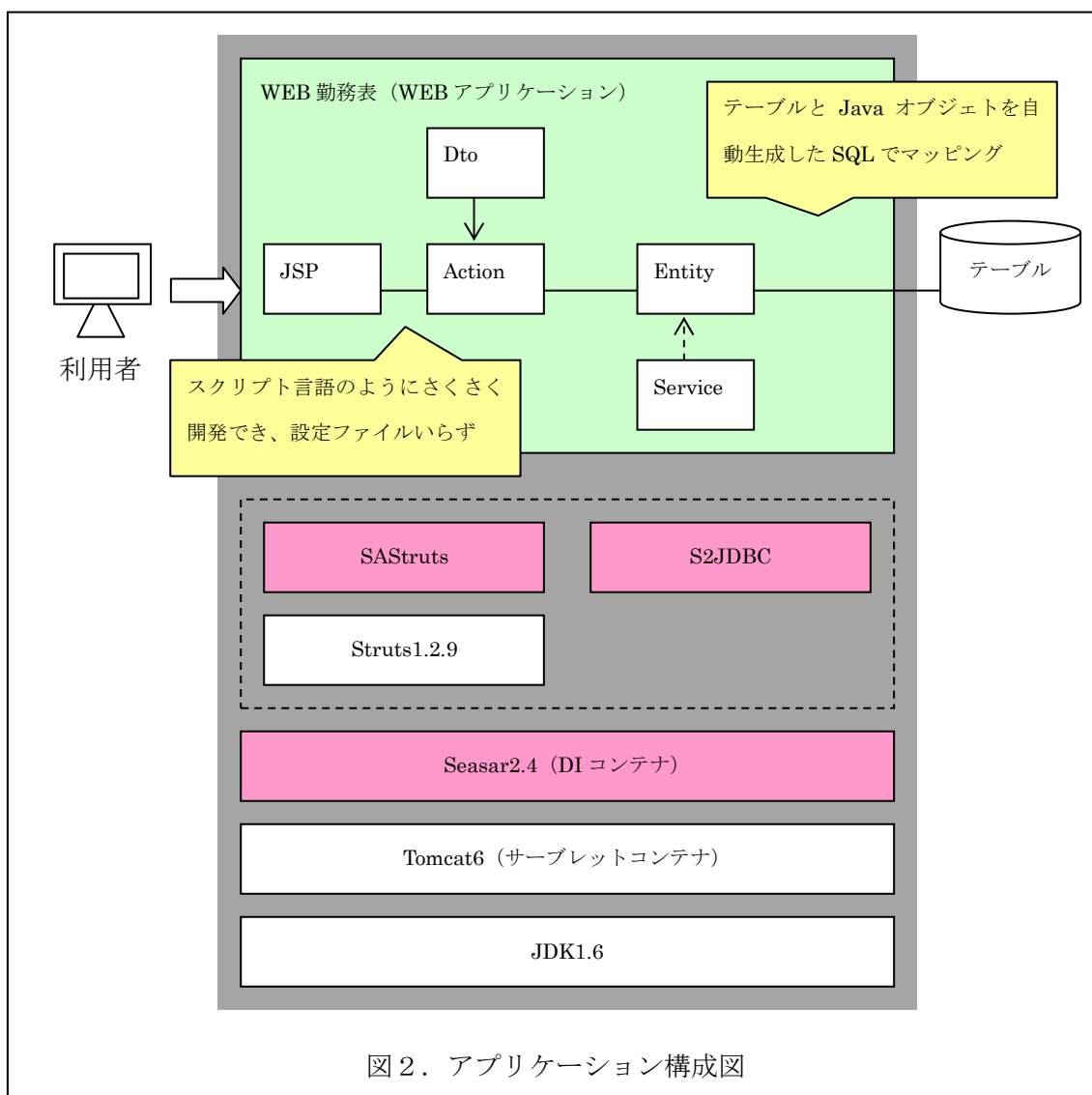


図 2. アプリケーション構成図